

セゾンエアコン 据付説明書・電気配線工事説明書

FDENVXP 402B, 452B, 712B, 802B, 1122B, 1402B
FDENVP 502B~632B, 1602B

天 (ワイヤレス) 形 7-1/5

PFA012D613

〈ご注意〉

○下記に示すような場所での据付、使用は避けてください。

- 油の飛沫や蒸気の多い所（例：調理場、機械工場）
熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
- 腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性がある場所。
熱交換器の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。又、可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
- 病院などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近く。ノイズ発生によるコントロールの誤動作の原因となります。
- 潮風が当る所（海浜地区）。外板、熱交換器の腐食の原因となります。

○下記に据付け上の注意事項を示しますので必ずお守りください。

- 直射日光の当たる所にリモコンを設置しないでください。リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
- アースを取ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は誤動作や感電の原因になることがあります。
- 漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- エアコンの重量に十分耐えられる場所に確実に設置してください。据付けに不備があるとユニットの落下によるケガや振動及び運転音増大の原因になります。
- 冷媒ガスが漏れた時、室内の冷媒濃度が限界濃度（0.3kg/m³）を超える恐れのある場合は、窒息防止のために隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置等の取付けが必要となりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

〈お願い事項〉

- 取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた（特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法）をご説明ください。
- 長時間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご説明ください。
電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータ等に通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

据付のまえに

- 据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
- 工事計画にあっておりますか。

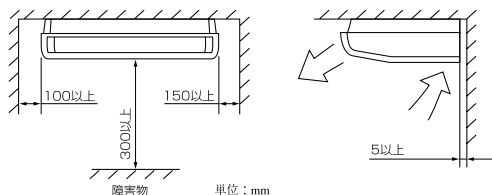
機種・電源仕様

確認してください

配管配線小物部品

据付場所の選定

室内機据付スペース

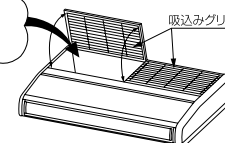


1. 据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

- 冷風または温風が十分行きわたる所。
据付高さが3mを越えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をお勧めください。
 - 室外への配管、配線のしやすい所。
 - ドレン排水が完全にできる所。ドレン勾配のとれる所。
 - 吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤動作しない所。ショートサーキットしない所。
 - 直射日光の当たらない所。
 - 周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。（天井埋込で据付ける際に、ユニット天面に断熱材を貼付ける等、高湿度の所に据付ける場合は本体の断熱等、露付に対する配慮をしてください。）
 - 受信部に強い照明光が当たる所は、避けてください。
 - 裏面の「ワイヤレスリモコンの操作距離」の項を参照し、ワイヤレスリモコンで確実に操作できる所を選んでください。
2. 据付けようとする場所がユニットの重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら、板、桁等で補強して据付作業を行ってください。

付属品収納場所（梱包時）

左記に示す付属品①～⑤は
この中に収納されています。



付 属 品	①	リモコン		1個	
	②	リモコン据付用			
		1 リモコンホルダー		1個	
		2 リモコン用電池		2個	UM-4
		3 木ネジ		2個	リモコンホルダー用
	③	ドレン関係			
		1 ドレンホース		1個	ドレンホースクランプ付
		2 断熱材		1個	ドレンホースクランプ用
		3 固定金具		1個	ドレンホース用
		4 わじ(M4)		2個	固定金具取付用
	④	本体吊り込み用			
		1 平座金		8個	ユニット吊り下げ用
	⑤	フレアナット部断熱用			
		1 バイパカバー		1個	ガス側用
		2 バイパカバー		1個	液側用
		3 バンド		4個	
	⑥	本体据付関係			
		1 型紙		1個	

工事完了後、これだけは再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内外のユニットの取り付けはしっかりしていますか。	落下・振動・騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない・暖まらない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体に表示の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない・暖まらない	

電気配線工事

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

① 電源・室内外接続線

室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外機据付説明書を参照ください。

警告

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧、ブレーカーを使用する。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

注意

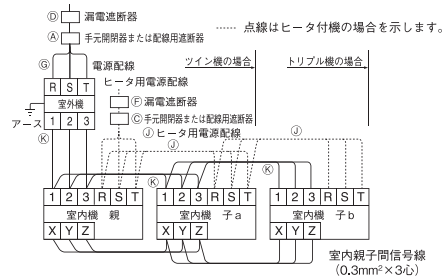
- アース工事を行う。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース線が不完全な場合は感電の原因になります。
- 電源には必ず漏電遮断器（高調波対応品）を取付ける。漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。
- 正しい容量のブレーカー（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）・配線用遮断器）を使用する。大きな容量のブレーカーを使用すると、故障や火災等の原因になります。

シングル機の結線

- ①電源の取り方は下表の接続パターンから選定し、行ってください。室内電源取り及び室内外別電源取りは原則できません。（ヒータ用電源は除く）
※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照のうえ、所轄の電力会社にご相談の上指示に従ってください。
②室内外接続線及びリモコン線は極性がありますので、必ず同一端子台番号間を接続してください。

	ヒータレス (含む冷専)	ヒータ後付時	
		標準的な接続方法	※ 例外的な接続方法
三 相 機			
単 相 機			

ツイン・トリプル機の結線



- ①室内親・子機間は端子台①②③及び⑧⑨⑩の同一番号間を接続してください。
②室内基板上のロータリスイッチSW 2により、同一冷暖システムすべての室内機を同一アドレスに設定してください。
③室内子機は、室内基板上のアドレススイッチSW 5-1, SW 5-2により、子a～子cに設定してください。

④電源投入後、リモコンの「エアコンNo./点検」スイッチを押し、接続されている室内親・子機No.がリモコンに表示される事を必ず確認してください。

室内機の親・子設定方法

		工場出荷時「親」設定			
		親	子 a	子 b	子 c
室内基板 アドレススイッチ	SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
	SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

開閉器・配線仕様

〈シングル・ツイン・トリプル機：ヒータレス〉

- 注 (1) 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
(2) ヒータレス時の室外機アース線については、室外機据付説明書の電気配線欄をご覧ください。
ヒータ後付時の室外機アース線については、ヒータ後付時の下表をご覧ください。
(3) 衝撃波不動作形のブレーカーを使用してください。
(4) XPシリーズの室外機と組合わせる場合はXPシリーズの欄、VPシリーズの室外機と組合わせる場合はVPシリーズの欄をご覧ください。

X P シリーズ ヒータレス	室外機	漏電遮断器 注(8) 定格電流	手元開閉器 開閉器容量 B種ヒューズ	配線用遮断器 定格電流	電源配線 注(1) 太さ×本数 こう長	内外接続線 注(1) 太さ×本数
		④	⑧ 注(9)		⑥	⑩
単相	P40～P56					φ1.6×3
	P63・P80					φ1.6×3
三相	P40～P63					φ1.6×3
	P80					φ1.6×3
	P112					φ1.6×3
	P140・P160					φ1.6×3

V P シリーズ ヒータ後付時	室外機	漏電遮断器 注(8) 定格電流	手元開閉器 開閉器容量 B種ヒューズ	配線用遮断器 定格電流	電源配線 注(1) 太さ×本数 こう長	内外接続線 注(1) 太さ×本数
		④	⑧ 注(9)		⑥	⑩
単相	P40～P56					φ1.6×3
	P63・P80					φ1.6×3
三相	P40～P56					φ1.6×3
	P63・P80					φ1.6×3
	P112～P160					φ1.6×3
						φ1.6×3

〈シングル機：ヒータ後付時〉

- 注 (5) ⑧の仕様については上表のヒータレスと同一です。
(6) 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を超える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
(7) 室内外接続線⑩とヒータ用電源線④は必ず別ケーブルとしてください。
(8) 電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器（三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
(9) 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）または、配線用遮断器が必要となります。

X Pシリーズ ヒータ後付時	室外機	漏電遮断器 注(8)		手元開閉器			配線用遮断器			電源配線 注(6)			ヒータ用電源配線 注(6)			アース線	
		定格電流		開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さ×本数	こう長	太さ×本数	こう長				
		(E)	(F)	(B) 注(9)			(C) 注(9)			(H)		(J) 注(7)		太さ	ネジ		
単相	P40～P56	30A,30mA,0.1sec以下	15A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	15A	15A	15A	φ2.0×2	15m	φ1.6×2	31m	φ1.6	M5		
	P40～P56	15A,30mA,0.1sec以下		15A	15A	15A	15A	15A	15A	φ2.0×3	31m	φ1.6×3	50m	φ1.6	M5		
	P63	20A,30mA,0.1sec以下	15A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	15A	15A	15A	φ2.0×3	24m	φ1.6×3	32m	φ1.6	M5		
	P80	30A,30mA,0.1sec以下		30A	30A	30A	15A	15A	15A	5.5mmφ×3	34m	φ1.6×3	32m	φ1.6	M5		
	P112	40A,30mA,0.1sec以下		50A	40A	40A	15A	15A	15A	5.5mmφ×3	22m	φ1.6×3	25m	φ1.6	M5		
P140・P160	50A,30mA,0.1sec以下	50A		50A	50A	15A	15A	15A	8.0mmφ×3	26m	φ1.6×3	25m	φ2.0	M5			

V P シリーズ ヒータ後付時	室外機	漏電遮断器 注(8)		手元開閉器		配線用遮断器		手元開閉器		配線用遮断器		電源配線 注(6)		ヒータ用電源配線 注(6)		アース線	
		定格電流		開閉器 容量	B種 ヒューズ	定格 電流	開閉器 容量	B種 ヒューズ	定格 電流	太さ×本数	こう長	太さ×本数	こう長	太さ	ネジ		
		(E)	(F)	(B) 注(9)		(C) 注(9)		(H)	(J) 注(7)								
単相	P40・P45	30A,30mA,0.1sec以下	15A,30mA,0.1sec以下	15A	15A	15A	15A	15A	φ2.0×2	15m	φ1.6×2	31m	φ1.6	M5			
	P50・P56	ヒータ（オプション）設定無し															
三相	P40・P45	15A,30mA,0.1sec以下	15A,30mA,0.1sec以下	15A	15A	15A	15A	15A	φ2.0×3	31m	φ1.6×3	50m	φ1.6	M5			
	P50・P56	20A,30mA,0.1sec以下		30A	20A	20A	15A	15A	15A	φ2.0×3	24m	φ1.6×3	32m	φ1.6	M5		
	P63	30A,30mA,0.1sec以下		30A	30A	30A	15A	15A	15A	5.5mmφ×3	28m	φ1.6×3	32m	φ1.6	M5		
	P80	40A,30mA,0.1sec以下		30A	30A	30A	15A	15A	15A	5.5mmφ×3	18m	φ1.6×3	32m	φ1.6	M5		
	P112～P160	40A,30mA,0.1sec以下		50A	40A	40A	15A	15A	15A	5.5mmφ×3	18m	φ1.6×3	25m	φ1.6	M5		

〈ツイン・トリプル機：ヒータ後付時〉

- 注 (10) ⑧の仕様については上表のヒータレスと同一です。
(11) 配線太さ④は20mまでの電圧降下(2%)を見込んであります。現地の配線が20mを超える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
(12) 室内機にヒータ装着した場合、室外機アース線太さを見直してください。

ヒ ータ 付	室内機ヒータ 合計容量（三相）	漏電遮断器 ④	開閉器 (A) ⑧	配線太さφmm又はmm² 注(11) ④
		④	⑧	④
	4.3kW以下	15A 30mA, 0.1sec以下	30	φ1.6
	5.0kW以下		30	φ2.0
	6.9kW以下	20A 30mA, 0.1sec以下	30	φ2.0
	10.0kW以下	30A 30mA, 0.1sec以下	30	5.5

室外形式	アース線	
	太さφmm又はmm²	ねじ
P80	φ1.6	M5
P112・P140	φ2.0	M5
P160	5.5	M5

⑧ リモコン

ワイヤレスリモコン(リモコンホルダー)の据付

お願い 次の位置は避けてください

- 1) 直射日光の当たる場所
- 2) 発熱器具の近く
- 3) 湿気の多い所・水の掛る所
- 4) 取付面に凸凹がある所

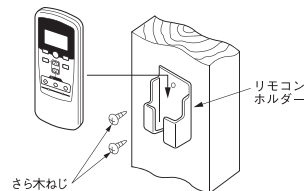
■電池の入れ方

- ①裏フタを外します。
- ②乾電池を入れます。(単四 2本)
- ③裏フタを取り付けます。



ホルダー取り付け時の注意

- ・垂直になる様、調節してください。
- ・ネジ頭が出ない様にしてください。
- ・土壁等へは取り付けしないでください。



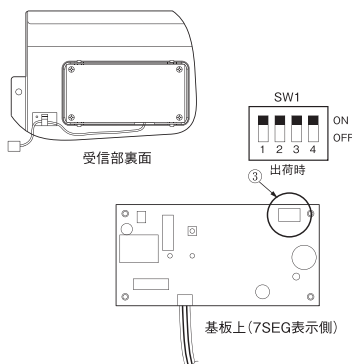
現地設定

受信部基板上のSWの設定は以下の通りです。
なお、出荷時は全てONになっています。

SW1-1	混信による誤動作防止	ON：通常 OFF：切換
SW1-2	受信部の親子切換	ON：親 OFF：子
SW1-3	ブザー音の有無	ON：有り OFF：無し
SW1-4	冷車／ヒューン切換	ON：ヒューン OFF：冷車

<設定を変更する場合>

- ①フロントパネルを取外してください。
- ②受信部裏面のねじ4本を外し、基板を取外してください。
- ③基板上 (7SEG表示側) のSWを変更してください。



<混信による誤動作を防ぐ方法>

受信部基板上のSW1-1をOFFにし、リモコン側も下記のように設定変更してください。

【風向】 ボタンを押しながら【リセット】スイッチを押すか、【風向】 ボタンを押しながら電池を投入すると設定が混信防止設定へ切り換わります。

【ご注意】 ※一度電池を取り外すと初期設定(工場出荷時設定)へ戻ります。
電池を取り外した時は、再度、上記操作を行ってください。

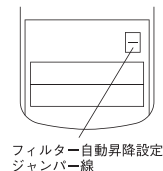
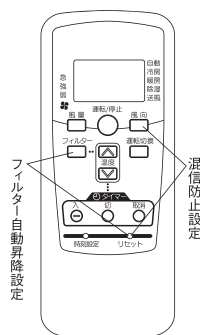
<自動昇降パネル(オプション)を使用する際の設定>

自動昇降パネル(オプション)を使用する際、次の①又は②のいずれかの方法によりリモコン設定を変更してください。

- ①【フィルター】 ボタンを押しながら【リセット】スイッチを押すか、【フィルター】 ボタンを押しながら電池を投入するとフィルター自動昇降モード有効に切り換わります。
- ②リモコン裏フタを外し、ジャンパー線を切断すると、フィルター自動昇降モード有効に切り換わります。

(設定を実施すると、フィルター自動昇降モード時、ディスプレイに「フィルター」と表示されます。)

【ご注意】 ※①の方法により設定した場合、一度電池を取り外すと初期設定(工場出荷時設定)へ戻ります。
電池を取り外した時は、再度、上記操作を行ってください。

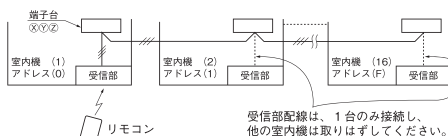


上記操作方法を必ずお客様に説明してください。
(操作方法はエアコン本体に付属の取扱説明書にも記載してあります。)

1リモコンによる複数台室内ユニット制御

室内ユニット最大16台まで接続可能です。

- ①各室内ユニット間を3心の渡り線にて配線してください。
渡り線については下記を参照願います。
- ②受信部配線は、リモコンで操作する室内機1台のみ接続しておき、他の室内機は端子台⑦⑧からはずすか、端子台～受信部間のコネクタCnB (3極、白色) をはずしてください。
- ③室内基板上のロータリースイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないように「0」～「F」に設定してください。



渡り配線を延長する場合の注意 ▶ 最大総延長600m

コードは必ずシールド線を使用してください。

●全形式：0.3mm²×3心 [MVVS3C (京阪電線)]

注(1) 延長距離が100mを超える場合は、下記のサイズに変更してください。

100～200m以内……0.5mm²×3心
300m以内……0.75mm²×3心
400m以内……1.25mm²×3心
600m以内……2.0mm²×3心

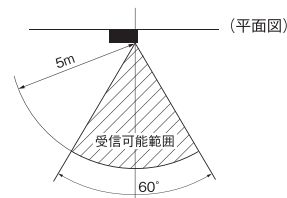
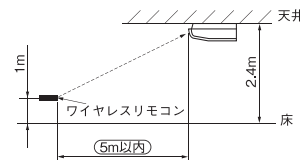
●シールド線は必ず片側のみをアースしてください。

※ご注意：左記のような接続の場合、2つまで受信部の使用が可能です。2つの受信部を使用する場合、いずれか一方の受信部基板上のSW1-2をOFFにし、子とする必要があります。
(切り換えは、本説明書「現地設定」をご覧ください。)
また、その他の受信部は使用できませんので、コネクタは接続しないでください。(コネクタを接続しない受信部のLEDの表示はできません。)

ワイヤレスリモコンの操作距離

①標準的な受信距離

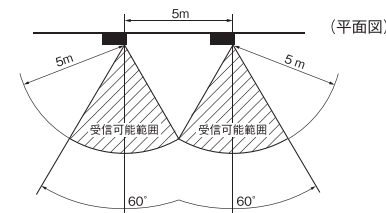
[条件] 受信部照度360ルクス
(一般事務所でPAC周辺1m以内の天井面に照明がない場合)



②複数台近接設置時の注意

[条件] 受信部照度360ルクス
(一般事務所でPAC周辺1m以内の天井面に照明がない場合)

前述の混信防止設定時にリモコンを使用した場合、同一動作を防止できる最小距離は5mです。

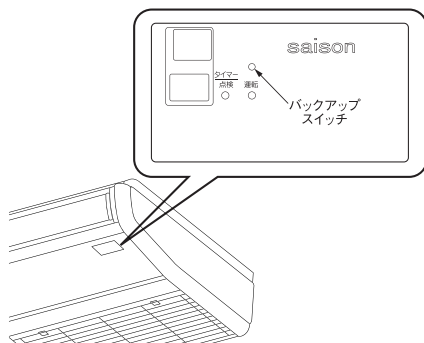


- リモコンスイッチを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
- 操作距離は、受信部照度、部屋壁面の反射状態により変化します。
- 受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合は、操作距離が短くなったり、受信しなくなる場合があります。

㉓ バックアップスイッチ操作

パネル表面受信部にバックアップスイッチ装備しています。ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に応急的に使用してください。操作は手で直接してください。

- (1) 停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。
風量「急」 温度設定「23℃」 ルーバ「水平」
- (2) 運転中に押すことにより「停止」します。
- (3) ラクリーナパネル（オプション）使用時、2秒以上押し続けてから離れた場合、オートリフトパネル上昇となります。



㉔ 冷房試運転操作

試運転については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

室内機からの冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながらワイヤレスリモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。

㉕ 2桁表示の見方

受信部に2桁表示（7セグ）を装備しています。

- (1) 表示は電源投入後1時間表示します。
- (2) エアコン停止中に、ワイヤレスリモコン「停止」信号送信により3.5秒間表示します。
- (3) 以上の表示は、運転開始により消灯します。
- (4) 異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。
- (5) 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
- (6) 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらワイヤレスリモコン「停止」信号送信によりクリアされます。